

報道関係機関の皆様

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構
水産研究本部 釧路水産試験場

マツカワ成熟魚のアーカイバルタグ標識放流試験の実施について

日頃から、釧路水産試験場の試験研究にご理解いただきまして有り難うございます。

さて、この度、釧路水産試験場では、農林水産省の委託研究として、「幻の高級カレイ・マツカワ」の産卵生態の解明を目的とした放流追跡試験を行います。

過去の乱獲等により一時は絶滅が危惧されたマツカワ資源ですが、近年、人工種苗放流によって水揚げが回復してきました。本研究事業では、この好機を逃さずに、これまで謎とされていたマツカワの産卵場や回遊経路を解明し、放流したマツカワが再生産（天然海域で卵を産み繁殖すること）ができるような栽培漁業方策の確立を目指します。

つきまして、下記の日時、場所において、データ記録式タグを装着したマツカワ成熟魚の放流を実施しますので、報道関係の皆様にご連絡させていただきます。

実施事業名:農林水産省農林水産技術会議「平成 22 年度新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」

研究課題名:放流マツカワの産卵生態解明と「産ませて獲る」を実践する栽培漁業体系の確立
(研究総括機関 釧路水産試験場)

放流日時: 平成 22 年 12 月 13 日 (月) 10:00～
※荒天の場合は、翌日以降に順延します。

放流場所: 豊頃町大津漁港から出航

参集機関: (地独法) 北海道立総合研究機構 釧路水産試験場、(独) 水産総合研究センター、大津漁業協同組合、豊頃町、十勝総合振興局



連絡先:地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場

調査研究部 主査(栽培技術) 萱 場 隆 昭

Tel 0154-23-6222, Fax 0154-23-6225, E-mail kayaba-takaaki@hro.or.jp